

2022年度 多文化共生セミナー

参加費
無料

ハイブリッド
開催

対面

&

zoom

オンライン

外国人が困っていることって何だろう？

多文化共生社会かながわを実現していくための第一歩として私たちの身近で、ともに暮らす外国人住民の多様な文化的・社会的背景を理解することが大切です。

そこで、日本に居住する多様な国籍、民族の外国人住民が抱える課題についてお話を聞き一緒に考えるセミナーを開催します。

入門編

申込締切 2月1日(水)

地域コミュニティの未来

～これからの多文化共生とは～

講師 田村 太郎さん
(一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事)

内容 多様な背景を持つ人々と共生するうえでの課題、またどのような工夫が必要となるかを学び、身近な生活圏での多文化共生のあり方を考えます。

日時 2023年2月4日(土)
14:00～15:30(13:30 開場)

定員 180名 (会場) 40名
(オンライン) 140名



実践編

申込締切 2月22日(水)

公営団地での楽しみながら つながる多文化共生とは

～800人のインド人が住むまち霧が丘から～
(横浜市緑区)

講師 根岸 あすみさん
(NPO 法人霧が丘ぶらっとほーむ 代表理事)

内容 身近に存在する集住地域での、多文化共生の地域づくりについて、具体的な取組を通じて学び、皆さんと共にできる事は何かを考えます。

日時 2023年2月25日(土)
14:00～15:30(13:30 開場)

定員 180名 (会場) 40名
(オンライン) 140名



会場

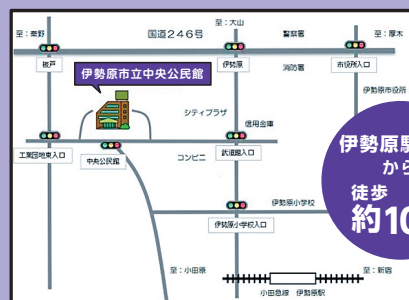
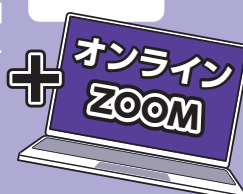
GO!!

伊勢原市立
中央公民館

伊勢原市東大竹1丁目21番1号

入門編、実践編ともに
同じ会場で行います。

会議室
A



伊勢原駅北口
から
徒歩
約10分

主催



公益財団法人
かながわ国際交流財団

共催

伊勢原市

入門編

地域コミュニティの未来 ～これからの多文化共生とは～

講師プロフィール

田村 太郎（たむら・たろう）

兵庫県生まれ。阪神・淡路大震災で被災した外国人への支援を機に「多文化共生センター」を設立し、地域における多文化共生の推進に従事。同センター代表や「自治体国際化協会」参事等を経て、2007年に「ダイバーシティ研究所」を設立。CSR や自治体施策を通じた人の多様性への配慮に取り組んでいる。東日本大震災直後に内閣官房企画官となり、官民連携での被災地支援を担当。現在も復興庁・復興推進参与として東北復興に携わる。

実践編

公営団地での楽しみながらつながる多文化共生とは ～ 800人のインド人が住むまち霧が丘から～

（横浜市緑区）

講師プロフィール

根岸 あすみ（ねぎし・あすみ）

霧が丘生まれ、霧が丘育ち。小学生と5歳の娘の母。社会人になり10年間離れた霧が丘へ、子育てを機に戻ると、インドの人たちが沢山暮らしていることを知り、インドの子と日本の子と一緒に遊べたらいいな～・・・インドのお母さんと井戸端会議してみたいな～・・・という思いから現在の活動をスタートした。2022年1月に、地域の人がゆるやかに繋がれる「地域コミュニティカフェ」をOPENしたばかり。

申込方法

財団ホームページの申込フォーム、またはFAX・メールにてお申込みください。

お申込みの際には、以下の内容をご記入ください。

メールのタイトルを「多文化共生セミナー申込み」とし、希望のセミナー（入門編・実践編）、氏名（ふりがな）、電話番号、メールアドレス、お住まいの自治体（市区町村のみ）、ご所属（任意）、参加方法（会場参加またはオンライン）を明記の上、【入門編】は2023年2月1日（水）、【実践編】は2023年2月22日（水）までにお申込みください。

（FAX）045-620-0025

（申込み用メールアドレス）
tabunkares@kifjp.org

2022年度 多文化共生セミナー 申込み

希望セミナー	入門編 ・ 実践編 ・ どちらも（いずれかに○）		
氏名（ふりがな）			
電話番号			
メールアドレス			
お住まいの自治体 （市区町村名のみ）	ご所属（任意）		
参加方法	入門編（会場 ・ オンライン） 実践編（会場 ・ オンライン）		

申込フォームは
こちらから

